



NPO法人日本アジア球友団ラリグラス 広報誌



CLUB LALIGURANS

2023年度号 2023年12月25日発行



アンナプルナ山系
マチャプチャレ



福島県檜葉町役場
シャクナゲ交流宣言



Nippon Asia Baseball Friends
CLUB LALIGURANS
Since 1999



第2回 NBSA Laligurans Cup 2023



NPO法人
日本アジア球友団ラリグラス
Nippon Asia Baseball Friends Club Laligurans

ワン・ワールド・フェスティバル

アジアをつなぐ協働の送りバント

ネパール - 福島県 シャクナゲ交流

シャクナゲ交流とは

「シャクナゲ交流」とは、福島ベースボールプロジェクト（ＦＢＰ）と当団が進めている野球を通じたネパールと福島県の交流活動です。

「シャクナゲ交流」は、2021年にネパールがキャッチボールクラシック国際大会（ＣＢＣ大会）に参加した際、ネパールの国花と福島県の県花がともにシャクナゲであることを知ったことから始まりました。これに加え、福島県は2011年に東日本大震災、ネパールは2015年の大地震とともに震災からの復興を経験するなど福島県とネパールには繋がりがあることから、ＣＢＣ大会の主催者のひとつであるＦＢＰとの間で「シャクナゲ交流」とも言うべきネパールと福島県の交流活動を進めようという構想が持ち上がりました。



ＦＢＰ
磯崎代表理事

ＮＢＳＡ
ディパック・ネウパネ会長

シャクナゲ交流宣言

2021年に構想が出たシャクナゲ交流でしたが、その後、コロナ禍やネパールの政治的混乱などの障害があり、活動を進めることができませんでした。

そして本年のＣＢＣ大会が開催された9月8日、大会に先立ってシャクナゲ交流宣言の式典が行われ、ようやくスタートを切ることができました。そして、シャクナゲ交流の手始めとして、ＦＢＰからネパールに硬式ボール180個が寄贈されました。



意見交換会

NBSA役員らはCBC大会の関係者との意見交換会も行いました。意見交換会にはFBPのアドバイザーを務めている元NPB選手の秦真司氏、元女子プロ野球選手の小西美加氏や日本プロ野球選手会の関係者らも参加し、ネパール野球の発展のための施策や野球道具の問題についても意見交換がなされ、今後に向けて大変有意義な議論ができました。

檜葉町役場訪問



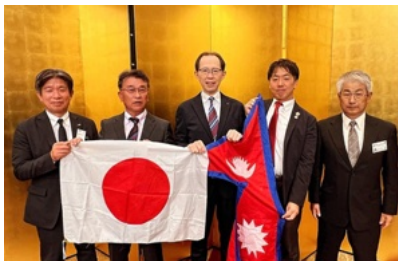
9月8日、NBSA役員らが檜葉町役場に松本栄樹副町長を表敬訪問しFBP様とともに「シャクナゲ交流」についてご説明しました。

9月8日は1999年にネパール野球の活動が始まってから、ちょうど25年目の記念すべき日でした。25年前、海外研修でネパールを訪れていた大学生が空き時間にキャッチボールをしていると、人々が物珍しそうに集まってきました。不思議に思った学生たちが後日、国家スポーツ評議会を訪問した際に当時の大臣に確認し、ネパールには野球が全く無いと知りました。それがきっかけとなり、同年9月8日にポカラの学校で学生らが子どもたちに野球を紹介したのがネパール野球の始まりでした。

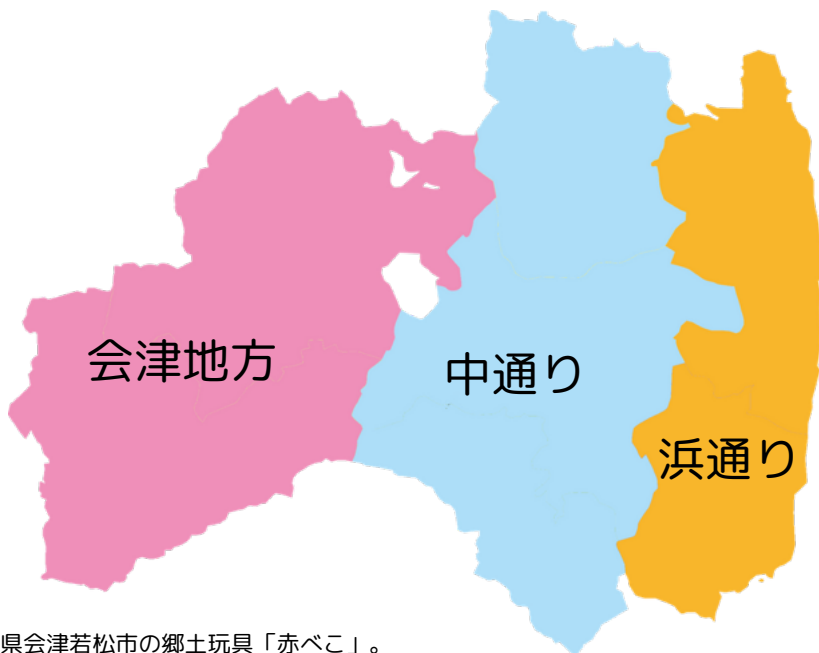


福島県

東北地方の最南端、日本で3番目の面積を誇る福島県。福島県には豊かな自然の景観、山海の幸、何百年もかけて育まれた伝統や文化があります。そして、そこでは絵に描いたような絶景を満喫したり、アウトドアを楽しんだり、温泉で心身を癒したり、伝統的な祭りに興じたりと様々な楽しむことができます。



10月20日、当団の小林会長が内堀雅雄福島県知事（写真中央）にお会いし、「シャクナゲ交流」についてご説明申し上げました。



福島県会津若松市の郷土玩具「赤べこ」。赤に下塗りした牛の型に、黒の斑点と白の縁取りを絵付けした張り子人形です。古くは厄除けのお守りや縁起物として、今日では丸みを帯びたフォルムと首がゆらゆらと揺れる動きが人気の土産物としても親しまれています。

福島県の地域区分

福島県は阿武隈高地と奥羽山脈を境にして大きく分けて3つの地域に分けることができます。奥羽山脈と阿武隈高地に挟まれた県中央部が「中通り」、西部が「会津」、東部が「浜通り」となっています。

会津地方

気候は日本海側の気候です。夏は山地では涼しくなりますが、盆地では蒸し暑くなります。

中通り

気候は日本海側と太平洋側の中間の気候です。夏は山間部ではそんなに暑くなりませんが、盆地ではかなり蒸し暑くなります。冬には冷たい風が吹き、雪も降ります。

浜通り

気候は太平洋側気候で梅雨と秋に雨量が多いです。夏は海からの風で気温は上がりにくいですが、冬は暖かく、雪もほとんど降りません。

会津地方



磐梯山

磐梯山は福島県の中央に位置している活火山です。標高は1819mです。日本百名山のひとつで「会津富士」とも呼ばれている福島県のシンボリックな山です。最近では1888年に噴火し、山体崩壊を起こしています。

ちなみに、ネパールの首都カトマンズの標高は平均で1400m程度です。

中通り



あづま総合運動公園

福島市にある都市公園です。2021年の東京オリンピックで野球・ソフトボールの試合会場となった「あづま球場」を含め、軟式野球場、総合体育館、陸上競技場、テニスコート、室内プール等のスポーツ施設のほか、しゃくなげの丘やバラ園といった緑化施設、様々に利用できる広場など、100ヘクタールにもおよぶ敷地に家族も楽しめる多種多様な施設が整備されています。

浜通り



9月8日 NBSAの役員らも訪問

東日本大震災・ 原子力災害伝承館

東日本大震災・原子力災害伝承館は、東日本大震災に関わる資料を収集・保存・展示している施設です。東日本大震災や福島第一原子力発電所事故などの災害の記録と記憶を防災・減災の教訓として未来に繋いでいます。

館内は「プロローグ」、「災害の始まり」、「原子力発電所事故直後の対応」、「県民の想い」、「長期化する原子力災害の影響」、「復興への挑戦」の6つのエリアに分かれた展示となっており、震災、原発事故や復興に向けての取り組みが時系列で展示されています。

第2回 NBSA LALIGURANS CUP 2023



2023年12月1日、2日にカトマンズのブダニカンタ・スクールで「2nd NBSA LALIGURANS CUP 2023」を開催いたしました。この大会は、試合や大会の機会に恵まれないネパールの子どもたちに試合の機会を提供し、野球をする子どもたちの目標とすべく始まったものです。大会には6チームが参加。警察学校のチームが優勝しました。

また、この大会には福島ベースボールプロジェクト様にもご協力いただいております。



侍ジャパン公式ウェブサイト

コラム

「世界の野球・ヒマラヤを北に望む国 ネパールの野球」

当団では、野球日本代表「侍ジャパン」の公式ウェブサイト内のコラム「世界の野球」でネパール野球を紹介する記事を執筆させていただいております。ここで、今年の記事の中から3つの記事の一部をご紹介します。



ONE WORLD

去る1月27日から7日間にわたりパキスタンのイスラマバードで第15回BFA西アジア野球大会2023が開催された。コロナ禍の影響で2019年7月以来の開催となった大会にはネパールを含む過去最多の7か国が参加した。今回の大会には、国際大会初出場となるパレスチナが参加し準優勝する活躍を見せた。また、前々回の2017年に同じくパキスタンで大会が開催された際にビザが発給されずに出場できなかったインドも今回は無事出場することができた。



ネパール最古参選手

ネパール野球の活動は1999年9月8日にネパール第2の都市ポカラで始まった。活動開始当初は、ポカラのセカンダリースクール（日本の小学校高学年から中学校、高校にあたる学校）で野球を紹介し、その子どもたちと一緒に野球をすることからの始まりであった。あれから25年近い年月が経ち、当時の子どもたちも今では立派な大人へと成長している。

そして、その中のひとりがナワラジ・ブジェル氏である。ポカラ出身のナワラジ・ブジェル氏は、ネパール野球が始まった当初に野球を始めた。



WORLD BASEBALL CLASSIC™ 2023

去る3月8日に台湾の台中インターコンチネンタル野球場を皮切りに開幕したワールド・ベースボール・クラシック（WBC）は、日本の優勝で幕を閉じた。大会期間中は日本国内も大いに盛り上がり、私も強化試合や1次ラウンドを観戦した。私はアジア野球連盟に加盟している各国との繋がりもあり、アジアから参加している国々を応援していた。そして、本戦には日本、台湾、韓国、中国が参加。その他にもWBSCの世界ランキングでアジア5位のパキスタンが昨年9月30日からパナマで行われた予選に出場したが、アルゼンチン、ニカラグアに敗れて涙を吞んだ。

コラムの続きは侍ジャパンの公式ウェブサイトにてご覧ください。

<https://www.japan-baseball.jp/jp/news/tag/ネパール>



みんなでかける虹。



大阪マラソン2024

2024年2月25日に「大阪マラソン2024」が開催されます。当団はこの大会のチャリティ寄附先団体に初めて選ばれました。そこで、このページでは大阪マラソンについてご紹介いたします。



大阪マラソンとは

西日本最大、全国でも東京マラソンに次ぐ規模の都市マラソン大会です。第1回は2011年に開催されました。毎年多くの市民ランナーが参加し、2024年の定員は3万4千人です。

一般ランナーの他にも車椅子ランナー、タレントや元オリンピック選手といったゲストランナーも出場します。



チャリティプログラム

大阪マラソンの大きなテーマのひとつがチャリティです。チャリティ文化の普及を目指し、「みんなでかける虹」をスローガンに、ランナー、観客、ボランティア等、多くの人にチャリティに参画する機会を提供しています。例えば、参加者は参加料とは別に2口以上（1口500円）の寄附を行うなど、様々なチャリティプログラムが準備されています。

みんなで
かける虹。



CHARITY



チャリティランナー

チャリティランナーとは、大阪マラソンのチャリティ活動への理解を深め、支援の輪を広げていくことを目的に出場するランナーです。チャリティランナーは、支援したい寄附先団体を選ぶとともに、家族、友人、知人に広く協力を呼びかけて合計7万円以上の寄附を集めることで出場権を得ることができます。

なお、今回の大会には当団の役員（小林 赤松、鈴木、重田）も出場いたします。



■大阪マラソンEXPO2024

大阪マラソンの前日と前々日に開催されるイベントです。当団もブース出展いたします。

- ・日時：2024年2月23日（金・祝）、24日（土）11時から20時（19時30分 最終入場）
- ・会場：インテックス大阪1号館もしくは2号館（予定）



寄附先団体一覧

各種チャリティプログラムで寄附された寄附金の寄附先となる団体です。多数の申し込みの中から厳正な審査の上、今回は30団体が選ばれております。

- (公社) アジア協会アジア友の会
- (特非) ウォーターエイドジャパン
- (公財) オイスカ
- (特非) 大阪被害者支援アドボカシーセンター
- NPO法人改革プロジェクト
- NPO法人関西骨髄バンク推進協会
- (特非) がんサポートコミュニティ
- 京都大学iPS細胞研究所
- NPO法人CLACK
- (特非) 国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター
- (特非) 国連UNHCR協会
- (公社) こどものホスピスプロジェクト
- (特非) 桜ライン311
- (特非) 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
- (特非) 育て上げネット
- (公財) ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
- **NPO法人日本アジア球友団ラリグラス**
- (特非) 日本クリニックラウン協会
- (一財) 日本国際飢餓対策機構
- (特非) 日本災害救援ボランティアネットワーク
- NPO法人HELLOlife
- (特非) Piece of Syria
- (特非) プール・ボランティア
- (特非) フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
- (特非) ブリッジ エーシア ジャパン
- (特非) ホープ・インターナショナル開発機構
- (特非) み・らいず2
- (一社) モザンビークのいのちをつなぐ会
- (特非) RAFIQ
- わが町にしなり子育てネット



ご寄附のご案内

当団へのご寄附は右記にある大阪マラソンのファンレイジングサイトで受け付けております。

いただいたご寄附はネパールでの野球大会開催のためなどに使わせていただきます。皆様の温かい応援をお待ち申し上げます。



<https://osaka-marathon.syncable.biz/campaign/4752>





コース紹介

大阪マラソン2024のコースは、大阪府庁前をスタートして大阪市中心部を巡り大阪城公園がゴールとなっています。コース沿線には大阪を代表する名所が数多くあり、大阪の魅力が散りばめられたコースとなっています。



大阪造幣局



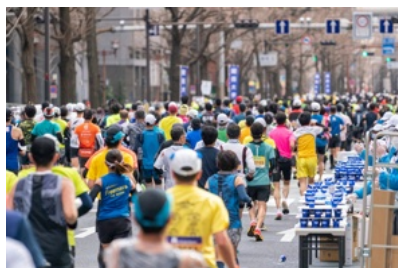
大阪府庁



大阪城公園



大阪市中央公会堂



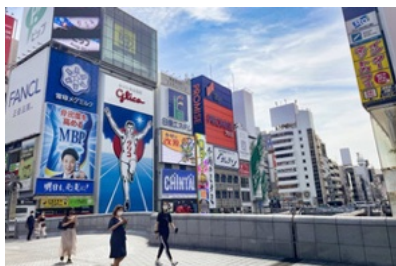
御堂筋



国立文楽劇場



京セラドーム大阪



道頓堀



四天王寺



大阪マラソンのコースは世界陸連公認のコースです。コースの前半は高低差が少ないですが、後半は高低差が大きくなっています。特に30km過ぎからは高低差約20mがあり、最も苦しい区間となっています。



ネパール野球ソフトボール協会 新体制発足

2023年6月17日にネパール政府公認の野球統括団体であるネパール野球ソフトボール協会（NBSA）の総会および役員選挙が実施され、新体制が発足しました。本来であれば、この総会と役員選挙はもっと早い時期に行われるはずでしたが、コロナ禍やネパールの政治的混乱で延期につぐ延期となっていて、実に3年以上遅れでの実施となりました。

今回の新役員には当団理事長のイッソー・タパ、当団理事のローシャン・タパも選ばれています。また、当団会長の小林洋平も名誉会員として外国人で唯一選出されました。



ディパック・ネウパネ新会長

今回の役員選挙では、合わせて21名の役員が選出されました。その中で、新会長にはディパック・ネウパネ氏が選出されました。同氏は、これまでNBSAの事務局長として活躍していた人物で、世界野球ソフトボール連盟やアジア野球連盟の総会にも出席しています。



- 会長 : Dipak Neupane
- 上級副会長 : Er. Pradeep Kumar Khattri
- 副会長 : Bipin Bajracharya, Narayan Gharti, Surendra Thapaliya, Ramita Adhikari
- 事務局長 : Pradin Shah
- 秘書 : Sanjib Phuyal K.C.
- 会計 : Upendra Bikram Lama

- 理事 : Tilak Dhungana, Shiva Kumar Khadka, Suiana Paudel Khatri, Hari Dhamala, Hira Thapaliya, Iswor Thana
- 名誉会員 : Yohei Kobayashi
- Roshan Thapa, Niroj Shrestha, Dipendra Karki, Sunita Thapa, Hemraj Giri, Ram Kumar Khadka

新役員一覧



各地の支部組織、野球チームの結成

NBSAはネパールでの野球普及のため各地に支部組織を作るとともに各地で野球チームを結成しようとしています。各地に支部組織を作って野球普及を図っていくことは、ネパールのスポーツを統括する政府組織である国家スポーツ評議会からも求められていることで、NBSA存続のために課せられた条件でもありました。

各地の支部組織に関しては、ネパール全7州のうち6州の協会と33の地区協会が設立されていて、NBSAの総会にも参加しました。また野球チームは、既に数チームが新たに結成され、国家スポーツ評議会から求められているNBSA存続のための条件も全て満たし、野球大会を開催するなど急速な広がりを見せています。

野球道具の不足

NBSAが野球普及を進めていく中で浮き上がって来ているのが野球道具の問題です。ネパールで野球普及を進めていくには多くの野球道具が必要ですが、野球が一般的ではなく発展途上にあるネパールでは野球道具は販売されておらず、野球道具を入手するのは困難です。周辺国にも協力を仰いではいますが、周辺国も野球が発展途上で、それも難しく厳しい状況にあります。それで、新たに結成されたチームにおいても野球道具が不足して困っている状況です。こうした背景から、NBSAは日本にも野球道具の協力を求めています。当団はこれまでも日本でネパールで使う野球道具のご寄附を集めてきました。輸送費の高騰により、以前のようなスムーズな輸送はできないかもしれませんが、それでも改めて野球道具のご寄附を広く呼びかけることにいたしました。

ネパールでは

最近、全国各地にチームが発足し、野球大会が行われるなど盛り上がっております。

ネパールでは

しかしながら、現地では野球道具が手に入らず、困っております。

ご協力をお願い

①野球道具のご寄附

ネパールでは野球道具が足りません。各地の野球チームで使う野球道具のご寄附を募っております。

ご協力をお願い

②運送費用のご支援

野球道具のネパールへの輸送には相応の運送費がかかります。輸送費のご支援も募っております。

輸送費の例	
■EMS	30kg 33,350円
■航空便	20kg 19,800円



NBSA役員来日

前述のように、ネパール野球ソフトボール協会の役員ら6名が9月に来日。福島県での活動のほか、東京、横浜、茨城など各所を訪問いたしました。



在日本ネパール大使館

在日本ネパール大使館にドゥルガ・スペディ大使を表敬訪問。大使にネパール野球の現状や今後についてご紹介いたしました。



全日本野球協会

全日本野球協会を訪問。山中正竹会長らとネパールや西アジアの野球および野球発展に向けての施策について意見交換を行いました。

ナガセケンコー株式会社

ナガセケンコー株式会社を訪問。長瀬泰彦会長と主にベースボール5についての意見交換をさせていただきました。



株式会社ファンケル



株式会社ファンケルを訪問。野球道具のご寄附のお礼を申し上げたほか、野球に限らずネパール全般にわたるお話もいたしました。



横浜スタジアム

東京2020オリンピックで野球・ソフトボール競技が開催された横浜スタジアムを見学しました。

東京ドーム

東京ドームを訪問。グラウンドや練習の見学とプロ野球の試合観戦をいたしました。



茨城アストロプラネッツ



茨城県笠間市の茨城アストロプラネッツ球団事務所を訪問。GMの色川様から世界の野球市場や球団経営に関わる貴重なお話をいただきました。



立浪部屋

日本の国技である相撲に触れるため、立浪部屋の稽古を見学しました。



野球をやってみよう

トピック

在日ネパール人のための野球体験会



🏆 在日ネパール人のための野球体験会とは

近年は日本に住むネパール人が増え、その数は14万人にも及んでいます。そういった在日ネパール人の皆さんとも野球で盛り上がっていきたくと考え、在日ネパール人野球チームを結成しようとしています。そして、その第1歩として、まずは、ネパール人の皆さんに実際に野球に触れてもらおうと思い、今年の5月からこの野球体験会を始めました。

🏆 ネパール野球の課題と体験会の内容

野球人口拡大のためには、スポーツ人口の拡大が必要ですが、以下の課題があります。

- * 野球だけの取り組みでは人が集まりにくい。
- * ネパールでは体育の授業が少なくスポーツの習慣が乏しい。

そこで、この野球体験会では、野球を知らない人でも気軽に参加できるように「投げる」、「捕る」、「打つ」といった野球の基本動作を主とするとともに、参加者の健康増進にも繋がればと考えています。



🏆 参加者の声

「日本に来て初めて野球を知りました。テレビでルールを覚えたことで野球の楽しさが分かりましたが、今回初めてプレーしてみて、その思いはさらに強くなりました。」

「今後も野球をやりたいので、野球体験会を続けて欲しいです。周りの仲間にも紹介していきたいです。」

当団公式マスコットキャラクター 「ねぱごん」誕生



当団は1999年9月8日に活動を始めて今年で25周年を迎えます。このネパール野球の活動25周年を記念して、2023年9月8日、当団の公式マスコットキャラクター「ねぱごん」が誕生しました。

「ねぱごん」はヒマラヤに住むと言われている謎の雪男、イエティをモチーフとしています。また、背番号の99は当団の活動開始年である1999年を意味しています。



Information 直近の出展について

■第31回 ワン・ワールド・フェスティバル

当団もブース出展いたします。

- ・日時：2024年2月3日（土）10時から17時
2月4日（日）10時から16時
- ・会場：梅田スカイビル
タワーウエスト3階ステラホール、
4階会議室、1階ワンダースクエア

是非、当団ブースに遊びに来てください！



社会人硬式野球クラブチーム NineForceの活動

当団は
NineForceの
運営母体です。



<https://www.9force.net/>



チーム創設13年目、日本野球連盟加盟5年目のシーズンだった社会人硬式野球クラブチームNineForceは、1年を通じて安定した活動を行いました。

公式戦では6月に奈良県2位のJメンテナンス野球クラブに15安打で競り勝ち、大金星を上げ、初めて近畿クラブ会長杯の近畿大会に出場しました。今夏の酷暑下の試合でも安定した試合を行い、今季最後の公式戦では、昨年の大学京滋リーグの覇者京都先端科学大学と対戦し、惜しくも5対3で敗戦。今シーズンは格上のチームとの対戦でも対等な試合を展開しました。

11月には、本拠地奈良県山添村の祭に4年半ぶりに出店し、野球を通じた地域活性化・貢献活動も復活することができました。

2024年もNineForceは野球を通じた国際交流・支援活動、地域活性化・貢献活動などを行ってまいります。



CLUB LALIGURANS 役員一覧



イッソー・タバ
理事長



小林 洋平
会長



スジュー・ウィジャナヤーカ
ゼネラルマネージャー



ディバック・ネウパネ
シニアアドバイザー



赤松 弘章
専務理事



藤森 稔人
常務理事



鈴木 秀利
事務局長



アルジュン・スレスタ
理事



ローシャン・タバ
理事



ナワラジ・ブジェル
理事



重田 大輝
理事



西尾 匠
理事



道端 寿奈
理事



加藤 直樹
理事



畑田 佳紀
理事



豊川 遼
理事



下地 和巳
監事



三上 真里奈
監事



アムリット・ポカレル
監事



ねばごん
当団公式キャラクター

2024年度 活動スローガン
～祝・活動25周年～

「原点回帰!! 新しい自分へ Let's try!!」



理事長 タパ・イツソー (Thapa Iswor)

2023年を振り返ってどうでしたか。

2023年は、子どもも生まれ、仕事やラリグラスの活動もあって、すごく充実した1年でした。

2024年の抱負を聞かせてください。

最近は日本に住んでいるネパール人たちがたくさん活動に協力してくれています。2024年もみんなと一緒に活動を盛り上げていきたいです。また、私もNBSAの役員に選ばれたので頑張りたいです。

会長 小林 洋平 (Yohei Kobayashi)

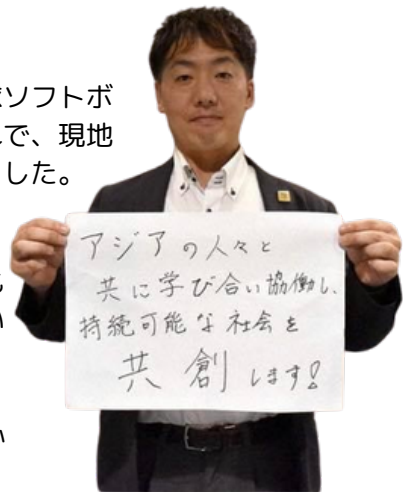
2023年を振り返ってどうでしたか。

コロナ禍や政治的な事情で3年以上も延期されていたネパール野球ソフトボール協会の役員選挙が行われ、イツソーも見事に選ばれました。これで、現地との連携が取りやすくなり、止まっていた時間がようやく動き出しました。

2024年の抱負を聞かせてください。

福島との「シャクナゲ交流」とか野球交流会とか新しい取り組みも始まりました。その中で、現地や他団体とどのように連携を強めていくか、どう「共創」に繋げていくかがこれからの課題となります。

2024年は活動25周年の節目の年ですが、これまでどおり活動を積み重ねていくことが何よりも大切だと考えております。思いやりの心と覚悟を持って新たな活動にも挑戦してやり抜きたいと思います。



フレンズパートナー様、スポンサー様、当団スタッフ募集

本年度も募集いたしております。ご協力者の皆さまに感謝申し上げます。

当団の活動の趣旨にご賛同いただき、一緒に「共創」を進めていただけるフレンズパートナー（会員）様、スポンサー様、また当団スタッフを募集いたしております。関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

■フレンズパートナー年会費

一般会費：1口 10,000円、 賛助会費：1口 3,000円、 法人会費：1口 50,000円

■会費納入方法：下記の口座にお振り込みください。

郵便振替：

口座番号 00950-8-165088

NPO法人日本アジア球友団ラリグラス

銀行振込：

三菱UFJ銀行 城東支店

普通口座 0187650

NPO法人日本アジア球友団ラリグラス

編集・発行：NPO法人日本アジア球友団ラリグラス

〒552-0002 大阪市港区市岡元町3丁目11-32 シリザ南アジアスパイスアート弁天町内

<http://club-laligurans.org/>

E-mail: info@club-laligurans.org 電話: 06-6648-8907

